

四 半 期 報 告 書

(第 29 期第 1 四半期)

株式会社エーアイテイナー

E 0 4 3 6 9

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

株式会社エーアイテイナー

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
2 【役員の状況】	6
第4 【経理の状況】	7
1 【四半期連結財務諸表】	8
2 【その他】	14
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	15

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成27年7月15日

【四半期会計期間】 第29期第1四半期(自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

【会社名】 株式会社エーアイティー

【英訳名】 A I T C O R P O R A T I O N

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 矢 倉 英 一

【本店の所在の場所】 大阪府中央区本町二丁目1番6号

【電話番号】 06-6260-3450 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 総合企画部・経理財務部担当 西村 司

【最寄りの連絡場所】 大阪府中央区本町二丁目1番6号

【電話番号】 06-6260-3450 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 総合企画部・経理財務部担当 西村 司

【縦覧に供する場所】 株式会社エーアイティー 東京支社
(東京都港区芝五丁目26番24号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第1四半期 連結累計期間	第29期 第1四半期 連結累計期間	第28期
会計期間	自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日	自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日	自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日
営業収益 (千円)	5,161,642	5,073,809	21,939,879
経常利益 (千円)	250,943	325,600	1,687,153
四半期(当期)純利益 (千円)	141,604	201,605	1,026,022
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	99,332	201,428	1,178,897
純資産額 (千円)	3,918,987	4,244,298	4,807,415
総資産額 (千円)	5,603,815	6,067,113	6,808,858
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	7.41	10.55	53.68
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	69.7	69.7	70.4

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境が改善し、景気も緩やかながら回復基調にある一方、円安による輸入製品の価格上昇等で個人消費の低迷が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。また海外経済も、新興国の成長鈍化等の不安定要素を抱えながら推移することとなりました。

さらに、当社グループを取巻く環境においても、円安が一段と進んだことから、日用雑貨やアパレル等を主に取扱う企業に在庫調整や輸入時期を見合わせる動きが見られ、厳しい状況となりました。

このような状況下、当社グループは、それぞれの顧客のニーズに沿った国際物流の提案型営業を強化するとともに、一貫輸送のサービスの向上にも努め、通関受注を含めた新規顧客の獲得と既存顧客の取引拡大に取り組んでまいりました。さらに、日本国内外での3PL（サードパーティー・ロジスティクス）案件の獲得にも注力してまいりました。

前述のような取り組みを精力的に続ける中、国際貨物輸送の取扱量は円安による影響があった反面、円安がもたらす為替換算効果もあり、さらに前第2四半期連結累計期間以降の仕入コストの削減効果も継続し、収益を押し上げる要因となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は5,073百万円（前年同期比1.7%減）と前年同期を下回ったものの、営業利益は306百万円（前年同期比27.3%増）、経常利益325百万円（前年同期比29.8%増）、四半期純利益201百万円（前年同期比42.4%増）と前年同期を上回る結果となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

①日本

当第1四半期連結累計期間では急激な円安進行が起因となり、海上輸送での取扱コンテナ本数は、輸入で35,004TEU（前年同期比17.7%減）、輸出入合計で36,858TEU（前年同期比17.1%減）と前年同期を下回った一方で、円安によりドル建ての運賃収入は増加し、取扱コンテナ本数の減少による収益の低下要因を補う形となりました。

また通関受注では、海上輸送の減少が響いたものの、新規顧客や既存顧客への営業強化が奏功し、受注件数は13,574件（前年同期比3.0%減）と僅かな減少に留まりました。

以上の結果、日本における営業収益は3,970百万円（前年同期比5.9%減）となりましたが、売上総利益率の改善効果もあり、セグメント利益は247百万円（前年同期比45.6%増）となりました。

②中国

日本向け貨物が低調な推移であったものの、現地での通関や配送等といった輸送に関連する収益が安定的に確保できたこと、及び円安に伴う現地通貨の円貨換算額が増加した結果、営業収益は1,087百万円（前年同期比17.0%増）となり、セグメント利益は、営業費用の増加により、58百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

③タイ

日本向け貨物が減少した一方で、円安による為替要因により現地通貨の円貨換算額が増加した結果、営業収益は15百万円（前年同期比10.8%増）、セグメント利益は0百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

(注) TEU (Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算) とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ741百万円減少し6,067百万円となりました。これは主に、立替金が350百万円、受取手形及び売掛金が220百万円、現金及び預金が191百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ178百万円減少し1,822百万円となりました。これは主に、未払法人税等が271百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ563百万円減少し4,244百万円となりました。これは主に、四半期純利益201百万円を計上した一方で、剰余金の配当により764百万円が減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	53,856,000
計	53,856,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年7月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	19,754,400	19,754,400	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株数は 100株であります。
計	19,754,400	19,754,400	—	—

(注) 当社株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年3月1日～ 平成27年5月31日	—	19,754,400	—	271,140	—	221,590

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成27年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 640,700	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,110,900	191,109	—
単元未満株式	普通株式 2,800	—	—
発行済株式総数	19,754,400	—	—
総株主の議決権	—	191,109	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式68株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成27年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数 の合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社 エーアイティイー	大阪市中央区本町 二丁目1番6号	640,700	—	640,700	3.24
計	—	640,700	—	640,700	3.24

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成27年3月1日から平成27年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年3月1日から平成27年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年 2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年 5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,557,053	3,365,835
受取手形及び売掛金	1,662,352	1,441,475
立替金	1,065,541	715,068
その他	155,295	155,578
貸倒引当金	△16,994	△13,243
流動資産合計	6,423,248	5,664,713
固定資産		
有形固定資産	75,609	86,425
無形固定資産	105,220	99,031
投資その他の資産		
投資有価証券	8,933	8,958
差入保証金	191,112	203,285
その他	4,789	4,712
貸倒引当金	△55	△12
投資その他の資産合計	204,780	216,943
固定資産合計	385,610	402,400
資産合計	6,808,858	6,067,113
負債の部		
流動負債		
買掛金	967,802	887,340
未払法人税等	389,320	117,985
賞与引当金	62,565	66,517
役員賞与引当金	18,200	4,549
その他	294,126	445,266
流動負債合計	1,732,014	1,521,658
固定負債		
退職給付に係る負債	172,961	183,361
役員退職慰労引当金	43,320	47,490
その他	53,147	70,304
固定負債合計	269,428	301,156
負債合計	2,001,442	1,822,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271,140	271,140
資本剰余金	221,590	221,590
利益剰余金	4,013,324	3,450,385
自己株式	△67,928	△67,928
株主資本合計	4,438,126	3,875,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,809	△2,294
繰延ヘッジ損益	-	△133
為替換算調整勘定	353,750	354,812
その他の包括利益累計額合計	351,940	352,384
少数株主持分	17,347	16,726
純資産合計	4,807,415	4,244,298
負債純資産合計	6,808,858	6,067,113

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
営業収益		
輸送事業収入	5,161,642	5,073,809
営業収益合計	5,161,642	5,073,809
営業原価		
輸送事業仕入	4,046,503	3,880,288
営業原価合計	4,046,503	3,880,288
売上総利益	1,115,138	1,193,521
販売費及び一般管理費	874,416	887,007
営業利益	240,721	306,513
営業外収益		
受取利息	1,417	7,311
為替差益	6,862	9,043
その他	2,003	2,852
営業外収益合計	10,282	19,206
営業外費用		
支払利息	57	95
その他	2	24
営業外費用合計	60	119
経常利益	250,943	325,600
特別損失		
固定資産除却損	85	713
特別損失合計	85	713
税金等調整前四半期純利益	250,858	324,886
法人税、住民税及び事業税	97,041	114,071
法人税等調整額	12,024	9,980
法人税等合計	109,066	124,051
少数株主損益調整前四半期純利益	141,791	200,835
少数株主利益又は少数株主損失(△)	187	△770
四半期純利益	141,604	201,605

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	141,791	200,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△196	△484
繰延ヘッジ損益	66	△133
為替換算調整勘定	△42,329	1,211
その他の包括利益合計	△42,459	592
四半期包括利益	99,332	201,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,273	202,049
少数株主に係る四半期包括利益	59	△621

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
減価償却費	13,220千円	16,396千円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月20日 定時株主総会	普通株式	191,136	10.00	平成26年2月28日	平成26年5月21日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月20日 定時株主総会	普通株式	764,545	40.00	平成27年2月28日	平成27年5月21日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額40.00円には、創立20周年記念配当20.00円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国 (注) 1	タイ	計		
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	4,217,694	929,963	13,984	5,161,642	—	5,161,642
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	8,725	477,170	5,318	491,214	△491,214	—
計	4,226,419	1,407,133	19,303	5,652,856	△491,214	5,161,642
セグメント利益	169,803	70,568	350	240,721	—	240,721

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国 (注) 1	タイ	計		
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	3,970,502	1,087,818	15,488	5,073,809	—	5,073,809
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	2,911	474,823	4,495	482,231	△482,231	—
計	3,973,413	1,562,642	19,984	5,556,040	△482,231	5,073,809
セグメント利益	247,259	58,952	301	306,513	—	306,513

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	7円41銭	10円55銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	141,604	201,605
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	141,604	201,605
普通株式の期中平均株式数(株)	19,113,632	19,113,632

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 7月15日

株式会社エーアイテイー
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 梅 田 佳 成 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 宅 潔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エーアイテイーの平成27年3月1日から平成28年2月29日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成27年3月1日から平成27年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年3月1日から平成27年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エーアイテイー及び連結子会社の平成27年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成27年7月15日

【会社名】 株式会社エーアイテイー

【英訳名】 A I T C O R P O R A T I O N

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 矢 倉 英 一

【最高財務責任者の役職氏名】 該当事項はありません。

【本店の所在の場所】 大阪市中央区本町二丁目1番6号

【縦覧に供する場所】 株式会社エーアイテイー 東京支社
(東京都港区芝五丁目26番24号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長矢倉英一は、当社の第29期第1四半期（自平成27年3月1日 至平成27年5月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。